

自由民主党議員団の平成二十二年度東京都北区一般会計予算、国民健康保険事業予算、用地特別会計予算、中小企業従業員退職金等共済事業会計予算、老人保健会計予算、介護保険会計予算、後期高齢者医療会計予算につきまして討論を行います。

現在は、累積債務が先進国で最悪の状況にある中、日本は人口減少社会というこれまでにない局面を迎えています。日本経済の先行きについては、世界的な金融危機の影響や世界景気の下振れ懸念など、景気を下押しするリスクが存在している。又、地方の財源の偏在を是正するという名のもと都市部の財源が吸い上げられている中、区を取り巻く環境は一層の厳しさの中に置かれている。

このような状況の中、北区が基礎的自治体として更なる責務を果たし、個性豊かで活力に満ちた北区の実現を目指す事が地方分権へ向けて求められております。そのためには、国・都・区との役割分担を踏まえて、行財政改革を推進し、各事業の運営を行う事により北区のスローガンである『区民とともに』という基本姿勢一層の推進と4つの重点戦略を中心に、区民一人ひとりが『ゆとりと豊かさと夢』を感じられる魅力溢れる北区の実現に向けた意欲的姿勢が予算に見られる事は評価いたします。

平成22年度予算編成は、歳入の点では、厳しい財政のもと基金と起債の効果的な活用を図るとともに、自主財源確保に向けた決意、歳出の点では、厳しい経済環境下の中で可能な限り行政水準を下げない努力をしている点や、新たな基本計画実現に向けた第一歩、未来を拓く予算として一定

の評価を致します。

今日の経済不況の中、区内事業者や区民の日々の暮らしを守る為の景気対策、就労対策に具体的かつ最優先に取り組んだ姿勢、又、区民目線に立った、行政の透明化を推進しようとする姿勢を評価致します。

子育て・教育の分野では未来につながる希望の種を蒔き、育てていく姿勢を評価致しますが、子供手当等の財源などに問題があり、地方に負担を求める事がないように国に求める事を要望しておきます。一方『教育先進都市・北区』の推進、教育環境改善の為に財源の安定的な確保を図りつつ学校改築に計画的に取り組む姿勢を評価致します。

高齢者率が24.5%を超えた北区に於いて、その80%は元気な方々です。その方々の『健康づくり』に向けた対策や、高齢者の総合相談窓口にあたる地域包括支援センターの増設などを含めた総合支援の体制、障害者施設等への支援施策などの前向きな姿勢を評価致します。

産業・文化・観光につきましても、商店街マイプラン支援事業の創設、観光協会設立準備、文化の創造と人々の交流を育む施設の整備としての取り組み等を評価します。

環境対策では地球温暖化対策への取り組み、新エネルギー・省エネルギー機器導入補助制度などへの対応を示し、資源循環型社会への推進が見られる事も大変評価致します。

予算要望書を会派で提出をさせて頂きましたが、具体的には緊急景気対策借換資金制度の導入、高齢者向けプレミアム付区内共通商品券の発行、

緊急雇用創出事業の拡充、福祉の人材確保・育成支援の拡充、少子化対策と保育需要拡大の傾向を踏まえた待機児解消策の一層の推進や、児童館を含めた保育時間の延長実施等は、幅広く民意を組み入れた施策の実行として高く評価致します。

しかし、今回の予算委員会で我が自由民主党議員団が申し上げました区内病院の医療体制を維持存続、待機児ゼロを目指す保育園への更なる課題、赤羽駅・王子駅周辺の諸課題、十条まちづくりに関する都区間の協議や国・JRを交えた事業への対処、区有施設の耐震問題、地域に根づいた商店街支援、防災まちづくりなどは更に推進していかねばならない施策があります。今委員会で明らかになりました区内都市計画道路の問題等は区民に直接影響の高い事であり、区側の一層の努力を求めます。さらに行財政改革を進め、区民の付託にしっかりと答えていくための区の強い意志と協働の精神の下に展開される強いリーダーシップを求めます。そして、庁内の各部の壁を越えてしっかりとした協議を行い基礎的自治体としての責務を今以上に果たされる事を期待致します。

その他、各款・目で申し上げました事は、北区の将来や区民生活に直接影響のある事ばかりであり、安心して安全を確保するための施策提案であります。本予算執行後も国や都との協議を通じ施策実現の為、財源確保に向けた積極的な対応を要望いたし、平成二十二年度一般会計予算他、六特別会計予算に賛成の態度を表明致します。